

村 木 俊 之

村木俊之氏は、株式会社山崎鐵工所（現、ヤマザキマザック株式会社）に入社後、一貫して工作機械に関わる最先端技術の研究開発に取り組み、CNC装置の自動プログラミング、CNC旋盤用モータビルトイン主軸、高圧クーラント技術、超精密旋盤、高速・高能率加工などの開発に従事されてきました。特に、「複合工作機械の機能開発と性能向上に関する研究」の成果は複合工作機械の普及につながり、国内外の自動車、電機、半導体、航空機産業等の発展に寄与されました。

精密工学会においては、理事（2018～2019）、2019年度秋季大会副実行委員長、代議員（2022～現在）、ICPE2012実行委員などを務められ、東海支部では、支部長（2020）、副支部長（2019）、幹事（2008～現在）を務め、本会の運営と活動に多大なる貢献をされました。さらに、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）や製造科学技術センターなどにおける国家プロジェクトに参画し、日本のものづくり技術の発展に尽力されました。また、国内の大学では非常勤講師を務め、次世代の若手教育にも精力的に貢献されています。

以上のように、村木俊之氏は、工作機械・生産加工分野の技術開発と精密工学会の発展に多大なる貢献をされてきました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。



略 歴

- 1982年 名古屋大学工学部機械学科卒業
- 1982年 株式会社山崎鐵工所（現、ヤマザキマザック株式会社）入社
- 2004年 京都大学博士（工学）「複合工作機械の機能開発と性能向上に関する研究」
- 2018年 精密工学会フェロー
- 2018～2019年 精密工学会理事
- 2020年 精密工学会東海支部長
（現在：ヤマザキマザック株式会社商品開発本部主席、公益財団法人マザック財団事務局長）